

>> なぜ支払法人税はPL計上より少ないとした？

実際に開示のCF計算書でも支払額はPLより少ない

## PL

特別損失合計	80,030	249,991
税金等調整前当期純利益	402,761	277,007
法人税、住民税及び事業税	71,881	63,116
法人税等調整額	38,710	△21,313
法人税等合計	110,591	41,803
当期純利益	---	---
税金等調整前当期純利益	277,007	269,351
法人税、住民税及び事業税	63,116	80,171
法人税等調整額	△21,313	6,160
法人税等合計	41,803	86,331
当期純利益	235,203	183,020
非支配株主に帰属する当期純利益	10,580	9,952
親会社株主に帰属する当期純利益	224,623	173,068

## CF

前期: 1100億/2 + 400億/2 = 750億

今期: 400億/2 + 800億/2 = 600億

法人税等の支払額	△87,527	△51,628
法人税等の還付額	18,889	18,896
営業活動によるキャッシュ・フロー	673,015	876,458

>> その他固定負債の増加は具体的に何か？

為替変動とSEA連結によるものと考えるのが自然

あとは資産除去債務の増加

固定負債		
社債	1,356,585	1,244,036
長期借入金	※3 824,616	※3 778,068
繰延税金負債	220,658	239,401
役員退職慰労引当金	459	439
株式給付引当金	4,707	4,947
退職給付に係る負債	16,323	16,313
長期預り金	45,025	44,178
リース債務	931,759	1,223,438
資産除去債務	163,328	235,024
その他	54,776	66,201
固定負債合計	3,618,240	3,852,050

(資産除去債務関係)

資産除去債務のうち連結貸借対照表に計上しているもの

(1) 当該資産除去債務の概要

主に店舗用建物の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務等であります。

(2) 当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間は不動産賃貸借契約の契約期間等と見積っており、1年～50年であります。割引率は0%～8.3%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

(3) 当該資産除去債務の総額の増減

	前連結会計年度 (自 2023年3月 1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月 1日 至 2025年2月28日)
期首残高	157,324百万円	168,599百万円
有形固定資産の取得に伴う増加額	5,536	20,399
時の経過による調整額	2,787	3,444
資産除去債務の履行による減少額	△4,838	△10,488
見積りの変更による増減額 (△は減少)	11,546	48,148
連結除外による減少額 (注1)	△7,898	△233
その他増減額 (△は減少) (注2)	4,140	7,850
期末残高	168,599	237,721

(注) 1 前連結会計年度における「連結除外による減少額」は、主に株式会社そごう・西武及びその子会社を連結の範囲から除外したことによる減少であります。

2 「その他増減額 (△は減少)」は、主に為替変動によるものであります。

(4) 当該資産除去債務の金額の見積りの変更

前連結会計年度及び当連結会計年度において、原状回復義務として計上していた資産除去債務について、直近の処理費用の実績等の新たな情報の入手に伴い、原状回復費用の見積り額及び使用見込期間に関して変更を行い、見積りの変更による増加額11,546百万円、48,148百万円を変更前の資産除去債務残高からそれぞれ増額しております。

>> 投資その他の資産はなぜ減少？売却収入？

資産売却、減損ではなさそう？またはMS作成モデルの集計違い？開示の連結よりSST/BK除外後のほうが大きく、しかも開示ではほぼ増減変化なし

投資その他の資産		
投資有価証券	※2, ※3, ※6 277,526	※2, ※3, ※6 321,086
長期貸付金	14,488	14,295
長期差入保証金	※3 278,642	※3 264,136
退職給付に係る資産	116,852	126,974
繰延税金資産	92,015	75,058
その他	59,297	69,189
貸倒引当金	△2,432	△1,675
投資その他の資産合計	836,390	869,065

>> SEI資産取得とは実際何のことか？

Sunoco

>> 負債の説明はどうするか？

>> ROU取得が2400億だけなら差分はなに？

SEA連結と為替、セールスリースバック

### 7-Eleven, Inc.によるセール・リースバック契約に係る固定資産売却益

(c) 特別損益及び税金等調整前当期純利益

特別損益は、前連結会計年度の230,078百万円の損失（純額）から105,235百万円の損失（純額）となりました。これは7-Eleven, Inc.によるセール・リースバック契約に係る固定資産売却益を計上したこと等によるものであります。

※3 固定資産売却益の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年 3月 1日 至 2024年 2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年 3月 1日 至 2025年 2月28日)
建物及び構築物	2,575百万円	42,495百万円
土地	7,989	51,997
その他	463	559
計	11,027	95,052

(注1) 当連結会計年度においては、建物及び構築物1,660百万円、土地1,458百万円及びその他△0百万円が「事業構造改革に伴う固定資産売却益」に含まれております。

(注2) 米国連結子会社である7-Eleven, Inc. が2024年11月に実施したセール・リースバックに伴い固定資産売却益を88,210百万円計上しております。

※4 固定資産廃棄損の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年 3月 1日 至 2024年 2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年 3月 1日 至 2025年 2月28日)
建物及び構築物	7,791百万円	10,564百万円
工具、器具及び備品	4,497	5,767
撤去費用	3,116	7,677
その他	184	734
計	15,590	24,744

(注) 当連結会計年度においては、建物及び構築物265百万円、工具、器具及び備品64百万円及び撤去費用1,248百万円が「事業構造改革費用」に含まれております。

有形固定資産は、主に為替レートの変動と海外コンビニエンスストア事業におけるSEAの取得に伴う増加等により618,798百万円の増加となりました。

無形固定資産は、主に為替レートの変動とSEAの取得に伴う増加等により354,804百万円の増加となりました。

また、投資その他の資産においては、株式会社セブン銀行が取得する地方債や社債が増加したこと等により32,674百万円増加しております。

流動負債は、短期借入金が87,614百万円、コールマネーが60,000百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ243,363百万円増加し、3,316,615百万円となりました。

固定負債は、為替レートの変動とSEAの取得に伴うリース債務の増加等により、前連結会計年度末に比べ233,809百万円増加し、3,852,050百万円となりました。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ316,821百万円増加し、4,217,445百万円となりました。

利益剰余金は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上による173,068百万円の増加、配当金の支払いによる101,469百万円の減少などにより、前連結会計年度に比べ71,595百万円増加しております。

-為替換算調整勘定は、主に7-Eleven, Inc.の財務諸表の換算などにより、293,002百万円増加しております。

---

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によって得た資金は、876,458百万円（前年同期比130.2%）となりました。前年同期に比べ203,443百万円増加した主な要因は、百貨店譲渡関連損失が129,618百万円減少した一方、売上債権の増減額が98,410百万円、銀行業におけるコールマネーの純増減が130,000百万円増加したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は、732,363百万円（前年同期比169.6%）となりました。前年同期に比べ300,553百万円増加した主な要因は、有形固定資産の売却による収入が105,687百万円増加した一方、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が165,880百万円、事業取得による支出が107,488百万円増加したこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は、392,648百万円（前年同期比104.1%）となりました。前年同期に比べ15,582百万円増加した主な要因は、長期借入れによる収入が149,245百万円増加した一方、社債の発行による収入が220,000百万円減少したこと等によるものであります。

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月 1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月 1日 至 2025年2月28日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	※6 △337,439	※6 △430,866
有形固定資産の売却による収入	24,317	130,005
無形固定資産の取得による支出	△120,202	△108,151
投資有価証券の取得による支出	△44,240	△64,402
投資有価証券の売却による収入	29,973	43,208
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△776	※4 △166,657
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	※3 36,036	2,603
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△2,687	※2 △22,573
差入保証金の差入による支出	△17,026	△8,847
差入保証金の回収による収入	18,046	25,645
預り保証金の受入による収入	2,093	3,715
預り保証金の返還による支出	△1,872	△3,368
事業取得による支出	※6 △2,187	※6 △109,675
定期預金の預入による支出	△7,302	△7,104
定期預金の払戻による収入	5,522	5,036
その他	△14,064	△20,929
投資活動によるキャッシュ・フロー	△431,809	△732,363
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	12,821	82,447
長期借入れによる収入	52,700	201,945
長期借入金の返済による支出	△150,246	△146,693
社債の発行による収入	220,000	—
社債の償還による支出	△325,837	△341,302
非支配株主からの払込みによる収入	2,988	619
自己株式の取得による支出	△52,393	△59,643
配当金の支払額	△106,092	△101,408
非支配株主への配当金の支払額	△7,533	△7,620
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△2,062	△367
その他	△21,409	△20,625
財務活動によるキャッシュ・フロー	△377,065	△392,648
現金及び現金同等物に係る換算差額	23,566	35,879
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△112,293	△212,673
現金及び現金同等物の期首残高	1,674,787	1,562,493
現金及び現金同等物の期末残高	※1 1,562,493	※1 1,349,820

3 取得した事業の取得原価及び対価の種類毎の内訳

取得の対価 現金995,608千米ドル (152,786百万円)

取得原価 995,608千米ドル (152,786百万円)

(注) 1米ドル=153.46円で換算 (2024年4月15日現在)

4 主要な取得関連費用の内訳及び金額

財務及び法務調査に対する報酬 5,916千米ドル (897百万円)

(注) 1米ドル=151.69円で換算 (期中平均レート)

5 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

697,677千米ドル (107,065百万円)

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

20年間で均等償却

6 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産 42,115千米ドル ( 6,462百万円)

固定資産 327,257千米ドル (50,220百万円)

資産合計 369,372千米ドル (56,683百万円)

固定負債 71,441千米ドル (10,963百万円)

負債合計 71,441千米ドル (10,963百万円)

5 重要な非資金取引の内容は次のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2023年3月 1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月 1日 至 2025年2月28日)
連結貸借対照表に計上したリース資産の取得額	5,832百万円	6,928百万円
連結貸借対照表に計上した使用権資産の取得額	175,607	240,515
連結貸借対照表に計上した資産除去債務の額	19,870	71,992

※6 事業取得による支出の主な内容

前連結会計年度（自 2023年3月1日 至 2024年2月29日）

海外連結子会社である7-Eleven, Inc. が取得した資産等に対する支出の内訳は以下のとおりであります。

棚卸資産	2,187百万円
有形固定資産	2,556
計	4,744

なお、上記のうち、有形固定資産2,556百万円については、有形固定資産の取得による支出に含めて表示しております。

当連結会計年度（自 2024年3月1日 至 2025年2月28日）

海外連結子会社である7-Eleven, Inc. が取得した資産等に対する支出の内訳は以下のとおりであります。

棚卸資産	5,432百万円
のれん	107,145
その他	△ 2,901
小計	109,675
有形固定資産	44,187
計	153,863

なお、上記のうち、有形固定資産44,187百万円については、有形固定資産の取得による支出に含めて表示しております。



※2 当連結会計年度における「連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出」には、前連結会計年度において、株式の売却により連結子会社でなくなった株式会社そごう・西武の価格調整等に対する未払計上金額22,068百万円の支払いが含まれております。

※3 株式の売却により連結子会社でなくなった会社の資産及び負債の主な内訳

前連結会計年度（自 2023年3月1日 至 2024年2月29日）

株式の売却により株式会社そごう・西武及びその子会社が連結子会社でなくなったことに伴う売却時の資産及び負債の内訳並びにそごう・西武株式の売却価額と売却による収入は次のとおりであります。

株式会社そごう・西武及びその子会社

流動資産	86,711百万円
固定資産	326,331
流動負債	△292,665
固定負債	△22,654
非支配株主持分	△4,979
未実現損益等	△4,315
株式売却損益	△88,341
<hr/>	
当該株式の売却価額	85
対価調整	△22,068
未払金	22,068
貸付金の回収	79,297
当該会社の現金及び現金同等物	△43,346
<hr/>	
差引：当該会社売却による収入	36,036

※4 株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳

当連結会計年度（自 2024年3月1日 至 2025年2月28日）

株式の取得により新たに連結したことに伴う連結開始時の資産及び負債の内訳並びに株式の取得価額と取得のための支出（純額）との関係は次のとおりであります。

Convenience Group Holdings Pty Ltd

流動資産	57,123百万円
固定資産	225,417
のれん	143,261
流動負債	△76,799
固定負債	△152,495
<hr/>	
当該株式の取得価額	196,507
当該会社の現金及び現金同等物	△29,850
<hr/>	
差引：当該会社取得のための支出	166,657



### 第3【設備の状況】

#### 1【設備投資等の概要】

当連結会計年度の設備投資額の内訳は次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度（百万円）
国内コンビニエンスストア事業	110,009
海外コンビニエンスストア事業	290,828
スーパーストア事業	64,798
金融関連事業	68,041
その他の事業	7,756
消去及び全社	11,343
合計	552,778

(注) 1 上記金額には差入保証金及び建設協力立替金を含めて記載しております。

2 「消去及び全社」はセグメント間取引消去及び当社の設備投資額であります。

当連結会計年度の設備投資額は552,778百万円となりました。国内コンビニエンスストア事業及び海外コンビニエンスストア事業においては、店舗の新設・改装等によりそれぞれ110,009百万円、290,828百万円の投資を行いました。スーパーストア事業及びその他の事業においては、店舗の新設・改装等によりそれぞれ64,798百万円、7,756百万円の投資を行いました。また、金融関連事業においては、株式会社セブン銀行のATMの設置等に68,041百万円の投資を行いました。

#### 2【主要な設備の状況】

2025年2月28日現在における主たる設備の状況は次のとおりであります。

(1) セグメント内訳

セグメントの名称	帳簿価額（百万円）								従業員数 （名）
	有形固定資産					無形固定資産		合計	
	建物及び 構築物	工具、器具 及び備品、 その他	土地 （面積㎡）	リース 資産	使用権 資産	借地権	ソフト ウェア		
国内コンビニエンス ストア事業	376, 539	103, 117	115, 498 (1, 457, 799)	228	—	16, 513	85, 687	697, 584	8, 517 (2, 050)
海外コンビニエンス ストア事業	1, 109, 974	343, 242	776, 874 (7, 381, 589)	—	1, 272, 958	—	88, 752	3, 591, 802	33, 560 (44, 167)
スーパーストア事業	211, 442	20, 837	248, 273 (2, 311, 487)	398	16, 349	451	10, 023	507, 778	11, 414 (35, 664)
金融関連事業	17, 317	84, 957	16, 822 (198, 221)	172	26	—	50, 030	169, 327	1, 887 (486)
その他の事業	31, 208	7, 229	12, 377 (116, 364)	184	472	468	4, 217	56, 158	5, 537 (8, 466)
全社（共通）	2, 683	2, 513	2, 712 (3, 622)	656	—	—	57, 104	65, 671	1, 097 (14)
合計	1, 749, 166	561, 899	1, 172, 559 (11, 469, 082)	1, 641	1, 289, 807	17, 433	295, 814	5, 088, 322	62, 012 (90, 847)

#### 1 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 175社

主要な連結子会社の名称

株式会社セブン・イレブン・ジャパン、7-Eleven, Inc.、株式会社イトーヨーカ堂、株式会社ヨークベニマル、株式会社セブン銀行、株式会社セブン・フィナンシャルサービス

当連結会計年度において、当社の連結子会社である7-Eleven International LLCは、その完全子会社であるAR BidCo Pty Ltdを通じてCONVENIENCE HOLDINGS PTY LTD他20社の株式を取得いたしました。また、株式会社ヨーク・ホールディングス、株式会社セブン&アイ・エナジーマネジメント他2社を新規設立、2社を株式取得しております。以上の結果、27社を連結子会社としております。

当社の完全子会社である株式会社セブン&アイ・ネットメディアが保有する株式会社ニッセンホールディングスの株式を譲渡したことに伴い、同社の子会社を含め9社を連結の範囲から除外しております。また、1社を清算、1社を株式譲渡しております。さらに1社を株式譲渡に伴い連結子会社から持分法適用会社としております。以上の結果、12社を連結の範囲から除外しております。

#### 2 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法を適用した非連結子会社の数 0社

(2) 持分法を適用した関連会社の数 20社

主要な会社等の名称

株式会社天満屋ストア、株式会社ダイイチ、びあ株式会社

当連結会計年度において、1社を新規設立、1社を株式譲渡に伴い連結子会社から持分法適用会社としており、合計2社を持分法適用会社としております。

また、2社を株式譲渡に伴い持分法適用会社から除外しております。

#### ④ 使用権資産

一部の在外連結子会社については、IFRS第16号「リース」及びASU第2016-02号「リース (Topic842)」を適用しております。これにより、借手は原則としてすべてのリースを連結貸借対照表に資産及び負債として計上しております。使用権資産の減価償却方法は定額法によっております。

なお、上記のうち、ASU第2016-02号「リース (Topic842)」を適用したオペレーティング・リースに係る使用権資産は、償却性資産ではないため、償却相当額を減価償却費ではなく地代家賃として計上しております。

### IFRSリース基準適用予定日

#### (2) 適用予定日

2029年2月期の期首から適用します。

(連結包括利益計算書関係)

※ その他の包括利益に係る組替調整額及び税効果額

	前連結会計年度 (自 2023年3月 1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月 1日 至 2025年2月28日)
その他有価証券評価差額金：		
当期発生額	20,064百万円	9,709百万円
組替調整額	△2,655	△1,777
税効果調整前	17,408	7,932
税効果額	△6,196	△2,313
その他有価証券評価差額金	11,212	5,618
繰延ヘッジ損益：		
当期発生額	14	789
組替調整額	—	△11
税効果調整前	14	777
税効果額	5	△79
繰延ヘッジ損益	19	697
為替換算調整勘定：		
当期発生額	165,163	294,534
退職給付に係る調整額：		
当期発生額	22,881	6,017
組替調整額	△3,121	△3,880
税効果調整前	19,760	2,137
税効果額	△6,914	278
退職給付に係る調整額	12,845	2,416
持分法適用会社に対する持分相当額：		
当期発生額	△133	70
その他の包括利益合計	189,107	303,336

# 7-Eleven, Inc. ①要約貸借対照表(2024年12月末)



単位：百万ドル

資産の部	23/12	24/12	前期末差	負債の部	23/12	24/12	前期末差
流動資産	5,649	4,009	▲1,640	負債合計	25,982	24,817	▲1,165
現金及び預金	2,084	742	▲1,342	流動負債	7,025	5,803	▲1,222
受取手形及び売掛金	1,813	1,422	▲391	支払手形及び買掛金	1,471	1,113	▲358
棚卸資産	1,383	1,384	+1	未払い費用及びその他流動負債	2,039	1,986	▲53
その他	369	461	+92	1年以内返済予定のオペレーティング・リース債務	788	875	+87
固定資産	40,749	42,281	+1,532	1年内返済予定の借入金*1	2,727	1,829	▲898
オペレーティング・リース使用権資産	6,843	7,097	+254	固定負債	18,957	19,014	+57
有形固定資産	15,148	15,124	▲24	オペレーティング・リース債務	6,258	6,612	+354
のれん及び無形固定資産	17,955	18,632	+677	長期借入金*2	8,840	8,147	▲693
その他	803	1,428	+625	繰延負債、その他	3,859	4,255	+396
総資産	46,398	46,290	▲108	純資産合計	20,416	21,473	+1,057
				負債及び純資産合計	46,398	46,290	▲108

注) SEI連結の数値(USGAAP)であります。

\*1 1年内返済予定の借入金には、社債、タームローン、ファイナンス・リースおよびその他の項目が含まれています。

\*2 長期借入金には、社債、タームローン、ファイナンス・リースおよびその他の項目が含まれています。

Copyright(C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.